

特定福祉用具購入における勉強会に参加してきました

特定福祉用具購入の選択制が導入されて（令和6年度）から1年が経過しました。それに伴い、どの程度の推移があったのか？実際に現場で利用者様に案内をする際、何が得で何が損か？何が安全で何が不安か？まずは、そもそも日本国内において、どのくらい金額の推移が起きているのか？歩行補助杖を3年間使用する場合（販売価格10,000円／レンタル価格1000円（100単位）とした場合）販売は10,000円（国9,000円／個人1,000円）／貸与は、国900円／個人100円＝使う年数（平均で3年）＋ケアプラン作成およそ360,000として…同じ10,000円の歩行補助杖が国の負担は、販売においては9,000円／貸与においては、 $(900 \times 36) + 360,000 = 392,400$ という事になります。

制定からここまで経過しなければ気づかなかったのか(笑)？と、研修の冒頭で思ってしまいました。ただ、これは杖だけを借りてデイサービスなど他の介護サービスを使ってない場合です。会社の利益だけを考えると、販売はおよそ5,000円程度に対し貸与で28,000くらい上がります（もう一度言います利益だけを考えると）。会社の利益を考えると貸与を100%勧めます。利用者様の利益を考えても貸与が100%です。国の利益を考えると販売を勧めますねw。ただ国の損益は国民の負担増減と繋がりますよね。ピックアップ歩行器などは、利用者様の利益とか云々無しに貸与の方がいいかと思いました。購入に対する決め手となっている要因は何か？といったデータもありました。最も多いのは長期利用の想定、次がメンテナンスの不必要です。また医学的所見、医師やリハビリの専門職意見も反映する上で、「長期的利用」があるとされていました。モニタリングの必要性、点検について、点検後の部品交換（部品だけではなく交換には人件費／技術料がかかる）など研修は、事業者の事も考えられていてとても興味深い点まで盛り込まれていました。今後の対象用具の拡大についても話があり、全てが違う環境下でどこまで配慮するのか？など考えられた末の今があるのだなと実感です。

自社在庫を確保しています！地域最大級の展示スペース！

即納、緊急対応、交換技術、時間外対応、選定アドバイス、知識情報量に自信あり！

『とりあえず、KAGOYAに頼めば何とかなる』を目指しています。

【 もんぶらん 】山梨県富士吉田市下吉田5丁目25-9

バカリズム脚本のドラマ：ホットスポットご覧になられた方は？富士吉田市で撮影されて、見たことある景色が多く映っていました。そして、こちらの喫茶店！実在するとの事でドラマ終了後ドライブがてらワイフと友人夫妻と行ってみたのです。大行列！6時間待ちと言われまして…日を改めて平日にこっそりとw 開店前から1時間ほど並んでパフェいただきました。



株式会社かごやは、トータルライフサポート企業です

多くの方から、『KAGOYAさんは事業展開されてすごいですね！』って言われる事が増えてきました。有難う御座います。しかし、本筋である『家具と介護のお店』にブレはありません。家具が納められる住宅の為に、不動産事業を展開する方が利点も多い。家具付きの家が売ればお客様、建設会社、KAGOYAと【三方良し】です。そして少子高齢化に歯止めがかからない昨今です。まず、結婚する人がいなければ子供も生まれな、子供が生まれなければ経済を支えられない、経済を支えなければ結婚できない。この【三方悪し】を解決するには、『結婚って、夫婦って、パートナーが居るって本当にいいものです』を、創ってしまおう！発信しよう！サポートする！です。そして、必ず訪れる介護、終活についてまで一括相談できるのって、KAGOYAだ！の信念を持って考動しています。編集：佐野